

事務事業名 筑紫南コミュニティセンター図書室運営事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：1345

施策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090602-15-00
基本事業：	01	学習ニーズに応じた学習機会の充実	担当部	教育部
基本事業の成果指標	生涯学習講座の充足度 ホームページアクセス件数 学習情報の利用者割合		担当課	生涯学習課
			担当係	推進・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成15年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市民			筑紫南コミュニティセンター図書室運営委託 ・図書室の開館業務 ・図書室主催事業の企画 ・地域行事等での図書イベント実施 ・ボランティアの調整 ・その他図書室運営のコーディネート						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
筑紫南コミュニティセンター図書室の運営事業を活用した学習活動や地域住民の交流により、地域づくり・子どもと保護者の健全育成が促される。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標
図書室利用者数		人	15,659	13,761	18,000	18,000			18,000
貸出冊数		冊	24,270	23,590	25,000	25,000			25,000
5. コスト									
事業費		計	千円	2,033	2,032	2,035	2,150		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	2,033	2,032	2,035	2,150				
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	800	809	807				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	2,833	2,841	2,842	2,150			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		利用者数は横ばいだが、安定して多くの利用がある。ふれあいサロン等地域行事への参加依頼も増え、筑紫南コミュニティ運営協議会の次世代育成部会に参加するなど、活動の広まりがみえる。また、会員が自ら講習会に参加し、その成果がイベント等に活かされている。今後は、会員（とくに若い世代）を増やすことや、活動継続のために、効果的なPR方法（他事業・団体との結びつけなど）を検討していく。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし		課題 会員（とくに若い世代）を増やすため、効果的に活動をPRする方法や他の事業、団体との連携等を検討していく必要がある。				
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり						
成果向上余地	大きい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄				
筑紫南コミュニティセンター建設時、建設委員会で検討した結果、図書室を設置し、地元ボランティアで運営することを確認していた。平成15年4月、筑紫南コミュニティセンターを開館し、図書室に図書司書を配置、平成20年度から図書室の運営を地元ボランティアで実施。事業終了。事業終了。									